

教職員等の働き方改革推進プラン 数値目標・評価指標における令和7年度の状況について

和歌山県教育委員会

数値目標・評価指標

(1) 「校務の効率化に向けた点検シート」の達成目標

- ① 85%以上の学校が達成できた項目数を全項目にする。
- ② 「ノー残業デーの設定」、「会議資料等の簡略化指導」、「退勤が極端に遅い教職員への指導」の項目で達成できた割合を100%にする。

指標	基準値 (2023年度)	2024年度	目標値	2025年度
85%以上の学校が達成できた項目数	小 13/19 項目中 中 16/21 項目中 高 19/21 項目中 特 19/21 項目中	小 15/19 項目中 中 16/21 項目中 高 21/21 項目中 特 19/21 項目中	全項目	小 15/19 項目中 中 16/21 項目中 高 21/21 項目中 特 19/21 項目中
ノー残業デーの設定	小 83.2% 中 85.1% 高 97.6% 特 100%	小 87.4% 中 88.5% 高 92.5% 特 100%	100%	小 87.6% 中 95.7% 高 95.0% 特 100%
会議資料等の簡略化指導	小 96.0% 中 93.4% 高 97.6% 特 100%	小 96.0% 中 93.8% 高 95.0% 特 100%	100%	小 96.8% 中 97.4% 高 97.5% 特 100%
退勤が極端に遅い教職員への指導	小 95.1% 中 95.0% 高 97.6% 特 100%	小 93.1% 中 94.7% 高 100% 特 100%	100%	小 95.0% 中 94.9% 高 100% 特 100%

(2) 部活動の休養日・活動時間の設定

- ① 中学校では、1週間の内、原則土・日のどちらか1日に加え、平日1日の休養日を設定した学校の割合100%を継続させる。
- ② 中学校では、平日2時間程度、休業日は3時間程度の活動時間を設定した学校の割合100%を継続させる。
- ③ 高等学校では、年間活動計画等を作成し、上記①②の中学校の取組を踏まえ、適切に休養日や活動時間を設定した学校の割合を100%にする。

指標	基準値 (2023年度)	2024年度	目標値	2025年度
(中学校)原則として週2日の休養日を設定している学校の割合	100%	100%	100%	100%

(中学校)原則として平日の活動時間を2時間程度、休業日の活動時間を3時間程度としている学校	100%	100%	100%	100%
(高等学校)年間活動計画等を作成し、適切に休業日を設定している学校	97.5%	94.9%	100%	92.3%
(高等学校)年間活動計画等を作成し、適切に活動時間を設定している学校	92.5%	92.3%	100%	94.9%

(3) 時間外勤務時間

超過勤務時間が1月あたり80時間を超える教職員の割合を0%にする。

指標	基準値 (2023年度)	2024年度	目標値	2025年度
県立学校における超過勤務時間が1月あたり80時間を超える教職員の割合	中 10.3% 高 12.2% 特 3.5%	中 6.7% 高 9.1% 特 1.2%	0%	中 7.1% 高 9.3% 特 0.9%

(4) 年次有給休暇

指標	2024年度	目標値	2025年度
教職員1人当たりの年次有給休暇の平均取得日数を1年につき13日以上を継続させる。	13.2日	13日以上	13.0日